

東北地方 1か月予報

(10月13日から11月12日までの天候見通し)

平成19年10月12日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方は気温の高い状態が続いているが、期間のはじめは寒気の影響で気温が低い見込みです。

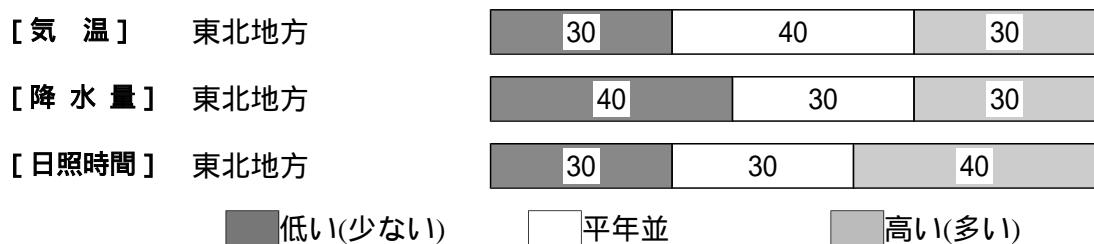
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

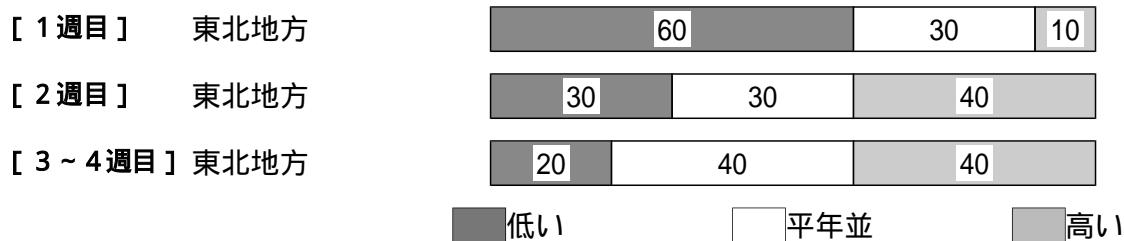
天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年に比べて晴れの日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は低い確率が60%、3~4週目は平年並または高い確率とともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月13日(土) ~ 11月12日(月)

1週目 : 10月13日(土) ~ 10月19日(金)

2週目 : 10月20日(土) ~ 10月26日(金)

3~4週目 : 10月27日(土) ~ 11月 9日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月19日

3か月予報：10月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	10.2	119.7	133.8	12.5	11.1	9.2
深浦	11.1	158.0	114.0	13.3	11.9	10.1
むつ	9.9	112.8	146.7	12.2	10.8	8.9
八戸	10.3	73.2	160.3	12.7	11.2	9.3
秋田	11.2	169.1	127.8	13.5	12.2	10.2
盛岡	9.3	99.4	142.5	11.7	10.2	8.2
大船渡	11.6	125.4	150.6	13.7	12.3	10.6
宮古	11.0	94.9	158.7	13.1	11.7	10.1
仙台	12.6	82.8	155.9	14.8	13.4	11.6
石巻	11.9	88.4	163.1	14.2	12.7	10.9
山形	10.8	74.0	126.5	13.2	11.6	9.7
新庄	9.8	173.8	92.6	12.3	10.7	8.7
酒田	12.4	190.1	124.3	14.6	13.3	11.4
福島	12.4	77.8	144.4	14.8	13.2	11.4
若松	10.6	70.4	114.2	13.2	11.5	9.5
白河	11.0	85.2	153.1	13.2	11.7	10.1
小名浜	14.0	120.2	165.0	16.1	14.8	13.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.4	84 ~ 110	95 ~ 106
東北日本海側	-0.5 ~ +0.5	91 ~ 107	95 ~ 106
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.5	69 ~ 120	96 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8 ~ +0.5	-0.7 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.7
東北日本海側	-0.8 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を受けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年10月12日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月13日～11月12日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年に比べて晴れの日が多い見込みです。

期間のはじめは寒気の影響で気温が低い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(10月13日～10月19日)：

期間のはじめと終わりは気圧の谷や寒気の影響により曇りで雨の降るところもありますが、その他の日は高気圧におおわれて、おおむね晴れるでしょう。

なお、期間のはじめは、寒気の影響で東北北部の山岳部では、雪の降る所がある見込みです。

平均気温は低い確率が60%です。

2週目(10月20日～10月26日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年に比べて晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目(10月27日～11月9日)：

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

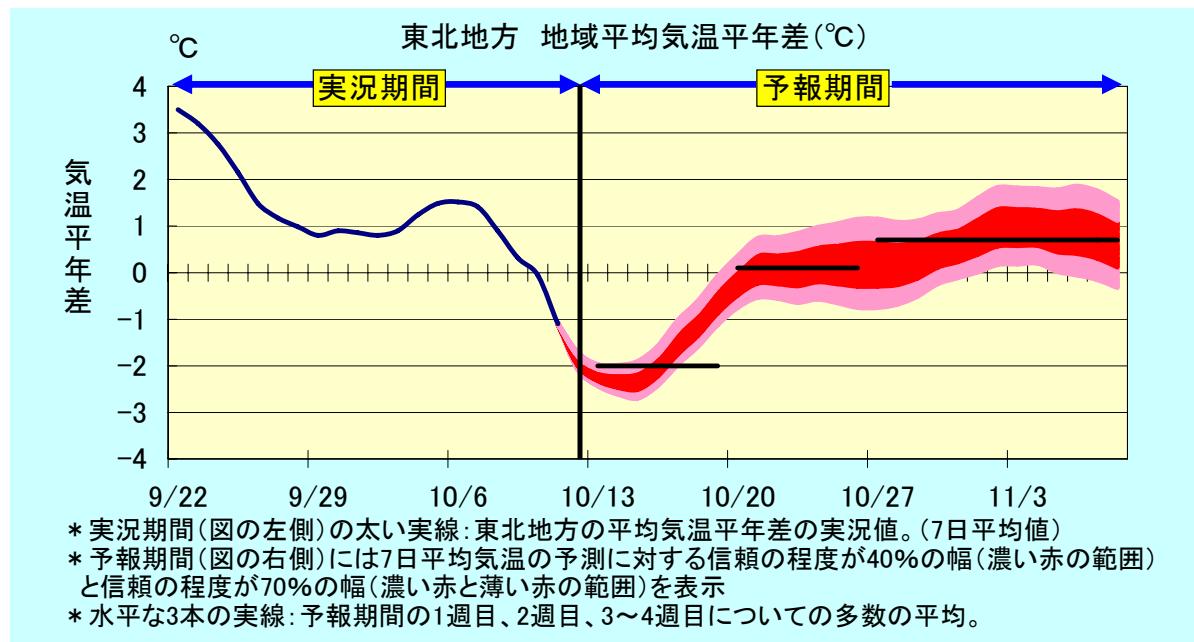
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	12.6日	3.4日	3.4日	5.8日
東北太平洋側	16.8日	4.0日	4.3日	8.5日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を下回り、2週目は平年付近、3～4週目は平年を上回る予想となっている。

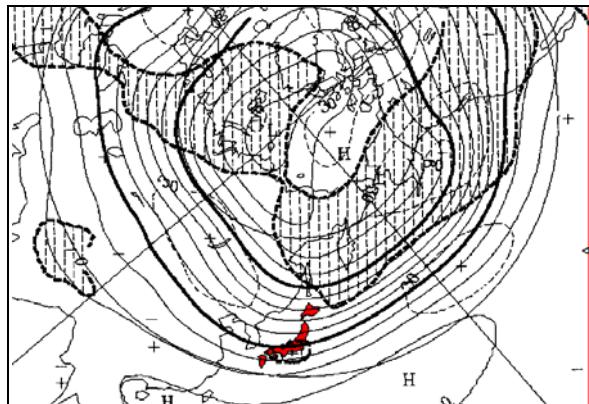


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 極東の中緯度域はバイカル湖付近と日付変更線付近に中心を持つ正偏差に広くおおわれる。高温傾向だが、北海道の北や本州南岸に負偏差も見られ一時的に寒気の影響を受ける。偏西風の蛇行は小さく、天気は周期的に変化する見込み。

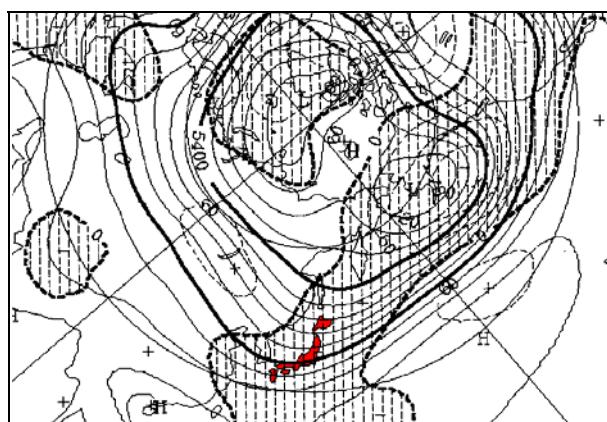
1週目: 日本付近は負偏差、中国大陸および太平洋は正偏差。東北地方は寒気の影響により気温は低くなる見込み。

2週目: 1週目に見られた負偏差は解消し、東北以南は正偏差におおわれる。日本付近の偏西風の蛇行は小さく、天気は周期的に変化する見込みだが、日本の東海上には負偏差が残り、平年に比べて東谷傾向となり低気圧の発達は小さい。

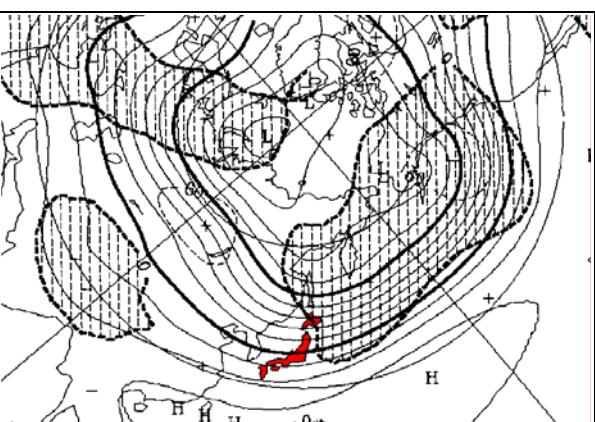


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

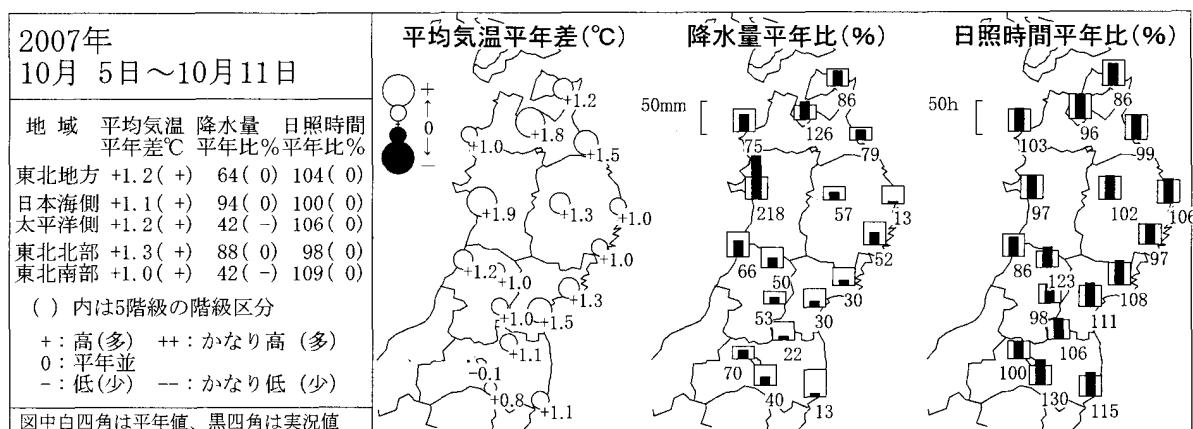
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (10月5日～10月11日) の天候の経過

この期間、東北地方では高気圧におおわれて晴れの日が多くったが、期間の後半は前線や気圧の谷の影響で東北北部を中心に曇りや雨の日もあった。8日にはサハリン付近の低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過した影響により、東北日本海側を中心に強い雨が降ったところがあった。また、前線の通過に伴い9日にかけて風が強まり、日本海側では波も高くなかった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北地方で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)